

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ふるさと

目標達成計画

作成日: 平成25年5月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	35	災害対策として、備蓄品が不十分である。また、避難訓練等、職員と入居者のみで行っていて、地域の方の参加がない。	備蓄品を再検討し、早急に備える。また、避難訓練については地域の方にも参加して頂く。	備蓄品については保管場所も確保し、一日分の食料や生活用品については備蓄できている。最低3日分準備できるよう、徐々に買い足し補充する。避難訓練に地域の方が参加しやすいよう運営推進会議の日等に訓練をする。 6ヶ月
2	33	看取りに関する知識の共有や、職員の不安の軽減が為されていない。	終末期になっても安心して生活して頂ける環境を作る。	社外での看取りに関する研修に積極的に参加し、社内での年間研修予定にも看取りに関する研修を盛り込む。 12ヶ月
3	2	地域の方との交流の機会が少ない。	地域の方の来訪の機会が増え、交流の機会が増える。	町内行事に積極的に参加し、また近隣の学校に職場体験や、見学、ボランティア等呼びかける。 12ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。